

ぐんま・県土整備プラン 2025

「ぐんま・県土整備プラン2025」とは

2045年に目指す将来像の実現に向けて、道路や河川、砂防施設、県立公園、下水道、県営住宅など、社会資本の整備や維持管理を「どのような考え方で、どのように進めていくか」を示す県土整備分野の最上位計画

【計画期間】 令和7年度(2025年度)～令和16年度(2034年度)

社会資本整備を取り巻く変化の見通し

- 気候変動の影響等による気象災害の更なる頻発化・激甚化
- 切迫する大規模地震
- 人口減少と高齢化の更なる進行
- 社会資本整備と維持管理の担い手の減少
- コロナ禍を経た社会構造の変化
- カーボンニュートラルに向けた機運の拡大
- 加速するインフラの老朽化
- 市街地の拡散と低密度化
- デジタル革命の加速
- 東京一極集中の脆弱性

ぐんま・県土整備プラン2020の進捗

災害対応組織力の維持

災害発生時において、地域の実情を熟知した建設産業が、迅速かつ機動的に発揮する現場力

今後の群馬県の政策の方向性

3つの
近未来構想
リトリートの聖地
クリエイティブの発信源
レジリエンスの拠点

見直しのポイント

「ぐんま・県土整備プラン2020」を継承しつつ
「連携・共創による群馬ならではの未来につながる社会資本整備」を推進

20年後に目指す将来像

災害に強く、安定した経済活動が可能な群馬県
誰もが安全・快適に移動でき、人と人、人と地域のつながりを生み出す群馬県
地域に愛着や誇りを持ち、良好な社会環境のもとで持続的に暮らせる群馬県

政策・施策及び方策の体系

○将来像を実現するための政策・施策

政策1 災害レジリエンスNo.1の実現 **最重点**

- 施策1：オール群馬による水害対策の加速化・高度化(流域治水の推進)
- 施策2：大規模災害を想定した事前防災の推進
- 施策3：「逃げ遅れゼロ」に向けた避難のサポート

政策2 持続可能で効率的なメンテナンス

- 施策1：予防保全に基づく長寿命化
- 施策2：効率的な維持管理
- 施策3：新技術を活用したインフラメンテナンス

政策3 未来につながる魅力的なまちづくり

- 施策1：エリア価値を創造する未来投資
- 施策2：持続可能で暮らしやすいまちづくり
- 施策3：地域の暮らしや経済活動を支えるインフラ整備
- 施策4：誰もが安全に移動できる環境づくり

政策4 美しく良好な環境の保全

- 施策1：豊かで美しい自然環境の保全・再生
- 施策2：健全な水循環の維持・回復
- 施策3：地球温暖化対策の推進

方策1 社会資本の整備と維持管理の担い手の確保・育成

- 方策1-1：建設産業の働き方改革
- 方策1-2：建設現場の生産性向上
- 方策1-3：建設産業の魅力の発信

方策2 計画の推進に当たって

- 方策2-1：地域ごとの災害対応組織力の維持
- 方策2-2：選択と集中による効率的・効果的な事業の推進
- 方策2-3：社会資本の複合的な投資効果の追求
- 方策2-4：わかりやすい情報発信による県土整備行政の見える化
- 方策2-5：県土整備プランの実効性の確保

共創

DX GI

共創

DX

GI

横串の視点①

横串の視点②

横串の視点③

連携・共創による持続可能な社会資本整備

グリーンイノベーション(GI)の推進